

1 学校の概要（令和4年5月1日現在）

- ① 福島県須賀川市滑川字西町 179-6      ② 18クラス・617人      ③ 蔵書数 25,582冊

2 読書活動推進の取組

(1) 生徒が親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

① 図書委員によるPR活動

図書委員が校内放送を通して、図書日より「清陵らいぶらりい」の発行、読書旬間や各種イベント及び展示の内容についてのPRを行った。「清陵らいぶらりい」の生徒及び教職員への配付や図書館からの連絡等も図書委員が行っている。また、今年度は全校一斉に「リクエスト用紙」を配付したが、図書委員が直接回収したことで多くのリクエストが寄せられ、生徒の希望に添った図書の選定に役立てることができた。

② 展示の工夫

季節や学校行事等に合わせてテーマを決め、企画展示を行っている。今年度は「図書委員から新入生におすすめの本」「校長先生おすすめの本」「癒しの猫展」「本屋大賞の本」「読書旬間におすすめの本」等の特設コーナーを設けた。POP（本の紹介文を書いたカード）も作成し、興味を持ってもらえるよう工夫している。また、校長先生や招き猫のパネルを作成して、図書館の外からでも見える場所に設置した。

季節によって図書館の飾り付けも行い、利用しやすい雰囲気作りに努めている。毎年七夕の時期には短冊とペンを用意しており、生徒たちが自由に願い事を書いて笹に飾りつけている。



③ 図書館でのイベントの実施

秋の全国読書週間に合わせて「ポイント祭」を開催している。1日1冊以上本を借りるとポイントがたまり景品と交換できるイベントで、これをきっかけに図書館を利用するようになる生徒も多い。また、年に1回廃棄前の雑誌を図書館で配布する機会も設けている。

④ 掲示板・展示スペースの活用

掲示板に新着図書案内、図書館だより、新着本の帯、本日の一面（新聞記事）、映画のチラシ、文学賞募集ポスターなどを掲示している。また、図書館隣にある多目的ホールには廃棄前の雑誌や新聞等を自由に持ち帰ることのできる棚を設置し、作家を特集した展示も行っている。



(2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

① 読書旬間の実施

1学期と2学期の期末考査終了後から終業日までの期間を「読書旬間」として、朝20分間の一斉読書を実施している。図書館では初心者にも読みやすい本や映画化された本などの親しみやすい本を展示し、初日と2日目は通常より早く開館して本を準備する生徒のサポートをしている。今年度は校長先生が監督をするというサプライズも実施した。



② 図書館日より「清陵らいぶらりい」の定期発行

月に1回、図書委員が作成して発行した「清陵らいぶらりい」を全校生徒に配付している。図書委員によるおすすめの本の紹介や新着図書の紹介、先生へのインタビュー記事、月別の貸し出し数上位クラスや年間貸し出しランキング等を掲載している。

③ 新入生オリエンテーションの実施

年度当初に国語の授業を利用して新入生対象に図書館の利用案内や利用する上での注意点の確認、新型コロナウイルス感染予防についての確認などを行った。

④ 3年生のための図書館活用オリエンテーションの実施

進路活動が本格化する3年生のために図書館活用のポイントをまとめたプリントを作成し、国語科の協力を得て3年生全クラスで実施した。学校司書による進路関係の本の場所、仕事に関する本や新書の紹介、国語科教員による新聞の読み方や話題の本の紹介等を行った。



(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

① 授業との連携

授業やホームルームで図書館利用の予約が入った際には、事前に担当者と打ち合わせを行い、学校司書による本の紹介を積極的に行っている。今年度は、国語表現の授業でPOPを作成する際に、過去の作品を見せながら作成のポイントや作り方についての説明も行った。また、必要な書籍や新聞等を準備して課題研究の調べ学習や芸術科目の制作活動にも協力した。



② ビブリオバトルの実施

図書委員会の活動の一環として、年に2回ビブリオバトルを行っている。各グループで得票数1位となったチャンプ本は、ビブリオバトルの様子とともに学校のホームページで紹介している。

③ 「須賀川地区高校合同読書会」への参加

課題となった本を事前に読んで上で読書会に臨み、他校の図書委員と積極的に意見交換をしてきた。



(4) その他の取組

① 地域でのPOPの展示

図書委員が作成した「これ読んでみて！須賀川地区高校図書委員のおススメ本」のPOPを、秋の全国読書週間に合わせて市内の書店や図書館で展示していただいている。展示場所や期間等は校内放送で周知するとともにホームページにも掲載した。